



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ニチリン 上場取引所 東
 コード番号 5184 URL <https://www.nichirin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 曾我 浩之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 香山 喬尚 TEL 079-252-4151
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	51,424	9.8	6,825	39.4	7,972	27.4	4,360	32.2
2022年12月期第3四半期	46,853	8.9	4,895	△0.7	6,258	14.9	3,299	△6.5

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 9,226百万円 (△2.1%) 2022年12月期第3四半期 9,420百万円 (44.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	318.84	—
2022年12月期第3四半期	233.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	77,776	58,136	66.1	3,791.84
2022年12月期	72,540	52,938	63.7	3,303.52

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 51,444百万円 2022年12月期 46,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	38.00	—	52.00	90.00
2023年12月期	—	52.00	—		
2023年12月期（予想）				90.00	142.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	9.1	8,800	14.6	10,000	18.3	5,500	20.1	402.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	14,371,500株	2022年12月期	14,371,500株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	804,426株	2022年12月期	379,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	13,675,678株	2022年12月期3Q	14,127,644株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）については、各国での入国規制の解除、感染対策の緩和により回復が続きました。一方、ウクライナ情勢やインフレの継続、および米欧主要中央銀行による金融引き締め長期化により、緩やかな景気の減速が見込まれています。

米国においては、個人消費の回復を背景に景気は堅調に推移しましたが、賃金上昇を中心としたインフレの高止まりが継続しました。また、インフレ抑制のための急激な金融引き締めは、一部の銀行の経営破綻や金融不安を招き景気減速の懸念となりました。引き続き米国の金利政策と世界経済への影響が注視されています。

欧州においては、ウクライナ情勢により経済活動は低調に推移しました。政府の支援策によりエネルギー価格の上昇は抑制されましたが、資源価格の高騰と記録的な賃金上昇などインフレが続きました。このような中、利上げによるインフレ抑制と景気回復の両立が求められています。

中国においては、ゼロコロナ政策解除後の経済活動の正常化により経済回復が期待されましたが、不動産市場の悪化や欧米諸国の経済関係見直しによる先行き不透明感により景気は減速しました。現在、政府による内需喚起や金融緩和などの景気対策に注目が集まっています。

アジアにおいては、世界経済の減速による輸出の低迷や金融引き締めにより、景気回復は鈍化しましたが、エネルギー価格や為替レートの安定化を受け緩やかなインフレへと向かい個人消費を中心に内需は堅調に推移しました。今後は、中国経済の減速による外需の低迷やインフレ再燃が景気の懸念材料となっています。

日本経済は、前年からの円安が総じて企業業績を後押しした一方、資源、エネルギー価格の高騰や、賃金の見直しも進められており、企業によるコスト上昇分を販売価格へ転嫁する動きが広がっています。また、コロナ禍からの回復により、供給制約の緩和による生産活動の正常化が進み、インバウンド需要や個人消費の伸びもあり、景気は緩やかに回復しています。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界に関する状況は、次のとおりであります。

自動車の生産販売は、半導体等部品の供給改善により北米や国内では回復傾向にありますが、中国、欧州市場での急速なEV需要の加速によるガソリン車販売の低迷は日系自動車業界にとって懸念事項となっています。世界的に各国規制によるEV化の流れは趨勢となっており、市場シェア維持のためEV化への早期対応が課題となっています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における国内乗用車メーカー8社の国内四輪車販売台数は、前年同四半期比15.9%増の330万台、四輪車輸出台数は、前年同四半期比17.8%増の299万台となり、国内四輪車生産台数は、前年同四半期比17.3%増の626万台となりました。また、海外生産台数は、前年同四半期比1.3%増の1,273万台となりました。

このような環境のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は51,424百万円（前年同四半期46,853百万円）、営業利益は6,825百万円（前年同四半期4,895百万円）、為替差益943百万円の計上もあり、経常利益は7,972百万円（前年同四半期6,258百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は4,360百万円（前年同四半期3,299百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

半導体等部品の供給改善による国内およびアジア向けを中心とした販売回復や円安に伴う外貨建て売上高の増加により、売上高は25,687百万円（前年同四半期23,286百万円）、営業利益は2,460百万円（前年同四半期1,736百万円）となりました。

② 北米

北米市場は、個人消費の回復や半導体等部品の供給改善により、売上高は9,869百万円（前年同四半期7,893百万円）となりました。また、人手不足と人件費の上昇への対応として一部生産を日本、アジアへ移管したことや物流費の改善により、営業利益は865百万円（前年同四半期94百万円）となりました。

③ 中国

EV需要が加速する中、現地ローカルメーカーへの販売は増加したものの、日系自動車メーカーのガソリン車販売が低迷した影響を受け、売上高は8,971百万円（前年同四半期9,984百万円）、営業利益は1,036百万円（前年同四半期1,141百万円）となりました。

④ アジア

半導体等部品の供給不足の緩和や北米からの生産移管も拡大傾向にあることから、売上高は16,732百万円（前年同四半期14,256百万円）、営業利益は2,569百万円（前年同四半期2,264百万円）となりました。

⑤ 欧州

ウクライナ情勢や半導体等部品の供給不足の緩和により、売上高は4,655百万円（前年同四半期3,504百万円）、営業利益は26百万円（前年同四半期は営業損失203百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、政治的緊張を起因とした地政学的リスクの更なる高まり、エネルギー価格・原油価格の高騰、各国の金融引き締め継続などを背景に、緩やかな減速傾向にあります。加えて、中国の不動産市場の不振による経済停滞は、世界経済の成長を下押しする可能性を孕んでおり、引き続き先行きは不透明な状況です。

日本経済は、円安を背景とした輸出企業の収益増加により回復基調にあります。一方で、現在の行き過ぎた円安のデメリットも否定できず、安定した為替水準の継続と内需中心の経済成長への期待が高まっています。

自動車業界は、半導体不足など供給網の混乱解消や生産・販売の回復により、景況は改善しつつあります。しかしながら、足元の事業環境は、世界景気の下振れによる販売減少、中国をはじめとする主要市場での日系自動車メーカーのシェア低下、またEVへの移行が大幅な雇用縮小に繋がるとの不安の高まりから全米自動車労働組合(UAW)がストライキ決行に至る等、自動車生産への影響も懸念されることから楽観視できない状況と言えます。

このような状況を踏まえつつ、当社グループの主要取引先である自動車メーカーの生産回復による売上増加、また継続している円安進行から、売上高、利益ともに2月14日の予想公表値を上回る見込みとなりましたので、2023年12月期の連結業績予想を以下のように修正しております。

(通期連結業績予想)

売上高	70,000 百万円	(前回予想	68,000 百万円、前期実績	64,172 百万円)
営業利益	8,800 百万円	(前回予想	8,200 百万円、前期実績	7,678 百万円)
経常利益	10,000 百万円	(前回予想	8,400 百万円、前期実績	8,452 百万円)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,500 百万円	(前回予想	4,600 百万円、前期実績	4,578 百万円)

為替レートについては、第4四半期以降、1 US\$=140円、1€=150円の設定としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,354	20,084
受取手形及び売掛金	11,246	11,270
電子記録債権	1,934	2,181
棚卸資産	12,236	12,768
デリバティブ債権	0	0
その他	1,858	2,361
貸倒引当金	△38	△23
流動資産合計	45,592	48,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,484	16,675
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,807	△8,512
建物及び構築物（純額）	7,676	8,162
機械装置及び運搬具	24,590	26,795
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,838	△18,294
機械装置及び運搬具（純額）	7,752	8,501
土地	3,023	3,140
建設仮勘定	944	1,243
その他	6,064	6,742
減価償却累計額	△3,807	△4,363
その他（純額）	2,256	2,378
有形固定資産合計	21,653	23,427
無形固定資産		
その他	344	321
無形固定資産合計	344	321
投資その他の資産		
投資有価証券	3,644	3,943
繰延税金資産	667	695
その他	638	745
投資その他の資産合計	4,949	5,384
固定資産合計	26,947	29,133
資産合計	72,540	77,776

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,889	5,903
電子記録債務	2,962	2,750
短期借入金	132	—
1年内返済予定の長期借入金	626	514
1年内返済予定のリース債務	287	324
未払法人税等	975	930
賞与引当金	271	812
デリバティブ債務	—	12
その他	2,446	2,811
流動負債合計	13,592	14,058
固定負債		
長期借入金	754	381
リース債務	711	559
再評価に係る繰延税金負債	610	610
繰延税金負債	592	403
役員退職慰労引当金	4	0
退職給付に係る負債	3,131	3,195
その他	203	430
固定負債合計	6,009	5,581
負債合計	19,601	19,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,158	2,158
資本剰余金	1,998	2,004
利益剰余金	36,814	39,738
自己株式	△661	△1,548
株主資本合計	40,309	42,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	809	1,071
土地再評価差額金	1,385	1,385
為替換算調整勘定	3,623	6,527
退職給付に係る調整累計額	96	107
その他の包括利益累計額合計	5,915	9,091
非支配株主持分	6,714	6,692
純資産合計	52,938	58,136
負債純資産合計	72,540	77,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年9月30日)
売上高	46,853	51,424
売上原価	36,361	39,071
売上総利益	10,492	12,352
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,482	1,159
貸倒引当金繰入額	24	△16
役員報酬	239	251
役員退職慰労引当金繰入額	1	0
給料及び手当	1,341	1,455
賞与引当金繰入額	188	190
退職給付費用	60	51
法定福利費	222	242
旅費及び交通費	103	151
租税公課	211	224
賃借料	86	98
減価償却費	277	227
その他	1,356	1,488
販売費及び一般管理費合計	5,596	5,526
営業利益	4,895	6,825
営業外収益		
受取利息	69	158
受取配当金	35	29
受取賃貸料	7	7
為替差益	1,259	943
助成金収入	10	—
その他	60	60
営業外収益合計	1,443	1,199
営業外費用		
支払利息	32	25
その他	47	26
営業外費用合計	79	52
経常利益	6,258	7,972
特別利益		
固定資産売却益	8	5
投資有価証券売却益	154	222
特別利益合計	163	228
特別損失		
固定資産売却損	10	8
固定資産除却損	38	54
特別損失合計	49	62
税金等調整前四半期純利益	6,372	8,138
法人税、住民税及び事業税	2,249	2,609
過年度法人税等	—	402
法人税等調整額	△45	△300
法人税等合計	2,204	2,710
四半期純利益	4,168	5,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	868	1,067
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,299	4,360

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年1月 1日 至 2022年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月 1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	4,168	5,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△225	261
為替換算調整勘定	5,479	3,525
退職給付に係る調整額	△2	11
その他の包括利益合計	5,252	3,798
四半期包括利益	9,420	9,226
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,560	7,537
非支配株主に係る四半期包括利益	1,859	1,688

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年1月1日 至2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	13,741	7,864	9,274	12,594	3,378	46,853	—	46,853
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,741	7,864	9,274	12,594	3,378	46,853	—	46,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,545	28	709	1,661	126	12,071	△12,071	—
計	23,286	7,893	9,984	14,256	3,504	58,925	△12,071	46,853
セグメント利益又は損 失 (△)	1,736	94	1,141	2,264	△203	5,033	△137	4,895

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△137百万円には、セグメント間の未実現損益△196百万円、セグメント間取引消去58百万円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	14,363	9,848	8,060	14,664	4,487	51,424	—	51,424
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,363	9,848	8,060	14,664	4,487	51,424	—	51,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,324	20	911	2,068	167	14,491	△14,491	—
計	25,687	9,869	8,971	16,732	4,655	65,916	△14,491	51,424
セグメント利益	2,460	865	1,036	2,569	26	6,958	△132	6,825

(注) 1. セグメント利益の調整額△132百万円には、セグメント間の未実現損益△153百万円、セグメント間取引消去21百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。